

# チェンバロに魅せられて

外川陽子さん

(船橋市在住)

チェンバロは  
バロックの響き

チェンバロは、その

華やかな外観から、宮廷音楽を連想させる。

響板は松、鍵盤は象牙や黒檀、弦をはじく爪はコンドルの羽軸、他にも猪の毛や鹿革というように全て自然素材でできているチェンバロは、音も繊細で管理も難しい。

船橋市 在住

で、チェンバロ奏者として全国各地で活躍している外川陽子さん、自宅に2台のチェンバロを置いてい

が、常に室温22〜23度、湿度は45〜50%に保っているそうだ。

外川さんがチェンバ

ロと出会ったのは、桐朋学園女子高等学校在学時。担任がハイドロン研究家として有名な先生だったことから、バロック時代のさまざまな話や、その時代の古楽器の生演奏を聴かせてくれたりした。それらの、張り詰めた。それらの、張り詰めた。それらの、張り詰めた。それらの、張り詰めた。

ない柔らかな音色に強くひかれ、外川さんは大学で副科としてチェンバロを学んだ。ピアノよりすべての音が半

音低く、バロック独得の調律をされたチェンバロの響きに魅せられた外川さんは、ピアノ科からチェンバロ科への転科を決意。もう二度入試を受けて、専攻をチェンバロに変更したという。

## 毎回好評な

### カフェコンサート

外川さんは、自身が指導する生徒さんたちとの会「Veichen

（ファイルヒェン）」を主宰。チェンバロ奏者として活動するかたわら、自宅近くのカフェでも毎年1、2回、カフェコンサートを開催している。プロの演奏家仲間とのアンサンブルや外川さん自身のソロやトークなどで、気軽に音楽を楽しめるファンに好評のよう

だ。「地域のひととじかに触れ合い、この約30



撮影・篠原栄治氏



チェンバロを演奏する外川さん

0年ほど前の西欧の楽器チェンバロが奏でる音楽に親しみを感じていただけたら本望です」と外川さんはほほ笑んだ。（ジャンボ）

※問い合わせ

Veichen

http://veichen1993.web.fc2.com

765081

モグ